



『20年間の水曜日』日本語版出版を記念して

# 日本軍「慰安婦」被害者 金学順さん証言から 20年

金学順さんが日本軍「慰安婦」被害者として名乗り出て20年になりました。日本軍の性奴隷被害者として、戦後50年間を性暴力被害者として苦しんだ彼女は、同じ被害経験をもつ女性たちに勇気を与え、共に立ち上がりました。しかし、今もその傷は癒されず、私たちに問題の解決を投げかけています。

Program

選考「サルブリ舞」  
張智恵さん

金学順さん  
DVD 上映



ユン・ミヒョンさん

司会 尹美香さん 韓国-挺身隊問題対策協議会常任代表

パネリスト スカッシュン

20年間の運動から何を学び、何を継承するのか  
藤目ゆきさん × 梁澄子さん

7/31 日 午後 2:00～  
(開場 午後1:30)

大阪歴史博物館 講堂

地下鉄谷町線-中央線「谷町四丁目」駅9号出口前

資料代  
一般 1,000円  
学生 500円

主 催 7/31日本軍「慰安婦」被害者 金学順さん証言が50周年

—『20年間の水曜日』日本語版出版を記念して— 集會実行委員会

連絡先: 日本軍「慰安婦」問題-関西ネットワーク(事務局) 050-4165-9990

『20年間の水曜日—日本軍「慰安婦」ハルモニが叫ぶゆるぎない希望』

ユン・ミヒョンさんが20年間の運動を青少年向けに本にして出版しました。日本語翻訳は梁澄子さんで、価格は1,500円。この販売収益金は「戦争と女性の人間博物館」の建設基金にします。



# 日本軍「慰安婦」被害者 金学順さん証言から 20 年

## — 『20 年間の水曜日』 日本語版出版を記念して



### 賛同 & 本の申し込みのお願い

今年の夏、韓国で金学順さんが初めて元「慰安婦」だったと名のり出されてからちょうど 20 年目を迎えます。それは日本軍「慰安婦」問題解決運動の始まりでもありました。以降、様々な運動の広がりや国際的な要求にも関わらず、今日に至るも「慰安婦」問題は解決していません。金学順さんは日本政府の償いを受けることなく、1987 年 12 月、その生涯を閉じられました。韓国国内だけでなく、各国の被害者たちが勇気を奮って証言し、尊厳の回復を求めましたが、その多くの方々もまた、すでにこの世を去られました。

この度、金学順さんをはじめ、亡くなられた被害者を偲び、その意思を胸に刻みながら、あわせて韓国挺身隊問題対策協議会 常任代表の尹美香さんを迎え、20 年間の運動を振り返る書籍『20 年間の水曜日』の日本語版出版を記念する集会を開催します。

つきましては、皆様への財政的支援と協力を心よりお願いする次第です。

また、『20 年間の水曜日』の注文を受け付けますので、よろしくお願ひします。

### お願ひ

振込用紙に、以下の内容を記入し、賛同金、本の購入をお申し込みください。

- 賛同：口数、金額、お名前、お名前の公表の可否
  - 本の購入：冊数、金額、お名前、ご連絡先・電話番号
- 振込口座：00980-3-209232  
口座名義：日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク

7・31 とびかけ人

- 長井 嗣子 旧日本軍性奴隷問題の解決を求める全国即時全面的徹底行委 有元 智明 日韓歴史正文化の早期実現を求める市民連帯・大阪
- 池内 結子 立命館大学教授
- 石川 康宏 神戸女学院大学教授
- 井上摩耶子 フェミニストカウンセラー協会
- 大賀 真子 大阪府立大学非常勤講師
- 岡野 八代 戦争・女性・人権学会
- 奥田八重子 (仮) アムネスティ・インターナショナル日本 北派グループ
- 加藤 幸子 日本軍「慰安婦」問題の解決を求める奈良ネット
- 木下 建雄 浄土宗大林寺住職
- 志本紀代子 法華学院大学名誉教授
- 白井美香子 日本軍「慰安婦」問題を考える八幡市民の会
- 嶋山 秀夫 日本キリスト教団牧師
- 谷口ひとみ 日本基督教団八幡まじりの本教会
- 都 暲彦 性暴力防止ネットワーク
- 戸塚 悦男 元徳谷大学教授
- 藤井幸之助 コリアン・マイノリティ研究会
- 藤田 ゆき 女性史研究家
- 藤 淳子 議決した「慰安婦」提案をした本津町市民
- 本岡 順次 元参議院議員
- 山下 明子 (仮) アムネスティ・インターナショナル日本「慰安婦」問題チーム
- 嶋山 美穂 日本軍「慰安婦」問題の早期解決を求める諸国若者行委・京田在日大韓基督教会 全国教会女性連合会

出版者プロフィール

尹美香 (ユン・ミヒャン)

【韓国挺身隊問題対策協議会】(副会長) 常任代表、梨花女子大学大学院でキリスト教教育学を学んだ後、92 年 1 月から慰安婦スタッフとして活動。その後専任役員、総務を経て総務、日本軍「慰安婦」問題解決のために国際的に活躍。現在「戦争と女性の人類博物館」常任共同設立者兼役員を務める。

藤田ゆき

女性史研究家、大阪大学教授。著書に『性の歴史学』(不二出版、1997 年)、『日本人型女権を不可視にするもの』(VAW&NET ジャパン編『戦われた戦時性暴力』白泉社、2001 年)、『女性史からみた近世国家基礎』(ひろしま女性学研究所、2010 年) など。訳書に『ある日本軍「慰安婦」の証言』(池田書店、1995 年)、2000 年の日本軍性奴隷制度をめぐり女性国際刑法廷で日本戦争罪の証人として日本人「慰安婦」について証言。

栗原子 (ヤン・チンジャ)

翻訳・編集者、一橋大学などで社会活動家。在日韓人「慰安婦」被害者、元挺身隊からの証言を編集運動を中心に、1990 年代後半から日本軍「慰安婦」問題に関わる。現在、「戦争と女性の人類博物館」(VAW) 日本協議会委員 代表、日本軍「慰安婦」問題解決共同行動 2010 共同代表、共著に『オレの心は決してない』(集文舎、2007 年) など。

張智恵 (ジャン・チヘ)

韓国挺身隊問題対策協議会 97 号「サブルイア」発行者兼サブルイア：サムは「証言」、プリは「解きほぐす」という意味。生の証言、苦悩、思いを込めたい名に託し、解きほぐすこととする意を表す。

### 集金賛同用紙

7・31 集金に賛同します

個人一口 500 円 団体一口 1,000 円

お名前 \_\_\_\_\_ 円  
 連絡先 \_\_\_\_\_  
 お名前の 公 開 非公開

### 『20年間の水曜日』 購入申込書

定価 1,500 円

お名前 \_\_\_\_\_ 円  
 連絡先 \_\_\_\_\_